

北九州空港滑走路延長計画

施設計画段階のとりまとめ

(案)

令和3年11月

北九州空港施設計画検討協議会

目 次

1. はじめに.....	1
2. 滑走路延長計画の策定プロセス	2
2.1. 滑走路延長計画の策定方法	2
2.2. 客観性、透明性の確保	2
3. 施設計画段階の検討内容	3
3.1. 滑走路延長の必要性	3
3.2. 滑走路延長の効果	4
3.3. 周辺への影響	5
3.4. 滑走路延長計画	6
3.5. 工程計画	7
4. おわりに.....	7

はじめに

北九州空港は、大型貨物機の長距離運航を可能とするため、現行の滑走路長 2,500m を 3,000m に整備延長する要請が関係する自治体等からなされています。このため、国は令和 2 年度に北九州空港の滑走路延長を検討する調査を決定しました。

滑走路延長に向けた施設計画段階の検討において、関係地方公共団体（福岡県、北九州市、苅田町）と国（九州地方整備局および大阪航空局）は、連携・協力して、「北九州空港施設計画検討協議会」を組織し、パブリック・インボルブメント（略名：PI）の手法を取り入れた調査・検討を進めてまいりました。

本書は、施設計画段階の検討結果及び PI 等意見募集の結果を総括して、北九州空港の滑走路延長計画に関する考え方をとりまとめたものです。

